

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
己	イ すでの のみ やむ 人②			乙巳 馬王堆 乙瑛碑		巳巳巳 淳化閣帖 高貞碑 孔子廟堂碑			巳 光明皇后
				巳 居延漢簡					巳 光明皇后
巴	ハ ともえ 人①		巴 説文・巴部	巴巴 武威医簡 扁鹊真山施記		巴 王献之	巴 龍山公墓誌		巴 豊替指歸
				巴 羅漢遺跡刻石					
				己 曹全碑					
卷	カン まき まく 教6常①		卷 睡虎地秦簡 説文・尸部	卷 馬王堆 劉熙碑		卷 興福寺新碑 鄭義下碑 等慈寺碑	卷 五経・尸部	卷 法華義疏	卷 中国・台湾
卷	人②		卷 睡虎地秦簡			卷 元植墓誌		卷 王勃詩序	卷 香港
巷	コウ ちまた 人①		巷 睡虎地秦簡 説文・邑部	巷 曹全碑		巷 屈元寿墓誌		巷 豊替指歸	巷 中・台・香
巷			巷 包山楚簡 説文・邑部						
			巷 包山楚簡						
巽	ソン たつみ ゆる 人①		巽 説文・艸部	巽 馬王堆 桐柏廟碑					巽 中国
巽			巽 説文・篆文	巽 封龍山頌					巽 台湾
			巽 説文・古文						巽 香港
巾	キン はば 常①	巾 甲骨 巾 金文	巾 説文・巾部	巾 武威漢簡 張遷碑	巾 智永千字文	巾 元孟碑墓誌 美人董氏墓誌	巾 五経・部首	巾 王勃詩序	巾 中・台・香

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん ころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
巳	巳	巳	巳	巳								巳 中・台・香
巳												
巳												
巴	巴	巴	巴	巴			巴					巴 中・台・香
卷	卷	卷	卷	卷	卷		卷	卷	卷	卷		卷 中国・台湾
卷												卷 香港
巷	巷	巷	巷				巷					巷 中・台・香
巽	巽	巽	巽									巽 中国
												巽 台湾
												巽 香港
巾	巾	巾	巾	巾	巾		巾					巾 中・台・香

【卷】説文解字、五経文字、康熙字典共に「尸」に分類されている。「弓」に点を打ったような異体字は来歴不明。

【巷】2004年のJISの例示字体変更前は「巷」だった。説文解字の不思議な部首にあるが、何と読む部首なのだろう？

【巽】弘道軒の四号と三号の字体が異なる。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
市	シ いち								市 王勃詩序
市									市 龔賢指歸
布	フ ぬの								布 王勃詩序
布									布 龔賢指歸
帆	ハン ほ								帆 龔賢指歸
帆									帆 龔賢指歸
希	ケ こいねがう まれ								希 王勃詩序
希									希 論經書詩 孔子廟堂碑
帖	チョウ ジョウ かきもの 人①								帖 干祿字書
帖									帖 干祿字書
帥	スイ ツツ ひきいる								帥 龔賢指歸
帥									帥 龔賢指歸

【市】干祿字書では正(統)字(体)は「市」ではなく「市」で「市」を「俗」としている。

【帆】説文解字では「馬+風」の字体。この字体を空海が龔賢指歸に書いている。空海は説文解字を見ていたのだろうか。

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
市	市	市	市	市			市	市	市	市	市	市 干祿(俗) 中国・台湾
市	市											市 香港
布	布	布	布	布			布	布	布	布	布	布 中・台・香
布	布											
帆	帆	帆	帆	帆			帆	帆		帆		帆 中・台・香
帆	帆											
希	希	希	希	希			希	希	希	希	希	希 中・台・香
希	希											
帖	帖	帖	帖	帖			帖					帖 中・台・香
帖	帖											
帥	帥	帥	帥	帥			帥	帥		帥		帥 中国
帥	帥											帥 台湾・香港

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆書	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期
帝	テイ みかど								帝 王勃詩序
帝									
帝									
帰	キ かえす かえる								帰 王勃詩序
帰									
帰									
師	シ いくさ みやこ かしら								師 王勃詩序
師									
席	セキ しむ むしろ								席 王勃詩序
席									
席									
帯	タイ おび おびる								帯 王勃詩序
帯									
帯									

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活 明治41~ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
帝												帝 中国
帝												帝 香港
帝												
帰												帰 中国
帰												帰 台湾・香港
帰												
師												師 中国
師												師 台湾・香港
師												
席												席 中国・台湾
席												席 香港
席												
帯												帯 中国
帯												帯 台湾
帯												帯 香港

【帰】隸書で「止」が右に伸びているもの(によう)と伸びていないものがある。孔子廟堂碑は説文解字の籀文の字体を書いている。

【師】漢代に旁を「巾」ではなく「巾」としているものがある。また曹全碑では偏が「巾」になっている。

親字	音訓	甲骨文・金文・古文・篆書 (殷・西周・春秋・戦国・秦)	説文解字 篆家	隸書 (前漢・後漢)	草書	行書	楷書 (南北朝から初唐)	正字体 楷書	日本上代 から 平安初期					
干	カン ひる ほす		金文	睡虎地秦簡	説文・干部	馬王堆	校官碑	淳化閣帖	元演葛誌	等慈寺碑	干祿・序	王勃詩序		
			春秋・金文	包山楚簡	敦煌漢簡	張遷碑						光明皇后		
				望山楚簡	曹全碑									
平	ヘイ ビョウ たいら ひら ひょう		春秋・金文	睡虎地秦簡	泰山刻石	馬王堆	乙瑛碑	十七帖	平安帖	張猛龍碑	温彦博碑	干祿・見出	王勃詩序	
平				包山楚簡	説文・亏部	居延漢簡			鄭義下碑	化度寺碑			王勃詩序	
				説文古文										
年	ネン とし みのり よわい		甲骨	召尊殷	睡虎地秦簡	説文・禾部	銀雀山竹簡	董景道土牛碑	十七帖	蘭亭序	高貞碑	九成宮	干祿字書	王勃詩序
年					里耶秦簡	馬王堆	乙瑛碑			泉男生葛誌	九經・禾・説文		王勃詩序	
					郭店楚簡	居延漢簡						九經・禾・經典	聖武天皇雜集	
幸	コウ さいわい さしあわせ		甲骨	睡虎地秦簡	説文・天部	馬王堆	曹全碑	十七帖		太妃高造像	孔子廟堂碑	五經・禾・説文	聖武天皇雜集	
										一佛造像記		五經・幸・經典	杜家立成	
幹	カン みき		睡虎地秦簡	説文不録	居延漢簡	燕平石經		高貞碑		五經・木部		王勃詩序		
幹				説文・木部									龔賢指歸	

【干】上代から江戸期は縦線をハネて「于」の字体に書くことがある。また、平安の元暦萬葉では1画目を右から書き「千」の字体になることがある。
【平】2つの点を「ソ」の形と「ハ」の形にするものの2種類がある。

【年】異体字に「季」があり、「季」が説文解字に合致する字体。干祿字書も「季」を〈正〉とする。どの線を長くするかは字体を考える上で大切な問題だが、「年」では、①上から2番目の横線を長くする、②上から3番目の横線を長くする、③縦線を極端に長くする、の3種類の字体がある。隸書では

平安中期 から 室町	江戸版本	康熙字典 1716年 部首・画数	弘道軒 四号	夏目漱石 坊っちゃん こころ	通字体活字 明治41～ 大正3年	漢字 整理案 大正8年	文部省 活字 昭和10年	当用 漢字表 昭和21年	太宰治 人間失格 昭和23年	当用漢字 字体表 昭和24年	教育漢字 平成4年	参考
干	干	干	干	干			干	干	干	干	干	干
元暦萬葉④	節用	干0		坊っちゃん								中・台・香
干												
元暦萬葉④												
干												
元暦萬葉④												
平	平	平	平	平			平	平	平	平	平	平
粘葉本朗詠	節用	干2		坊っちゃん						×		中・台・香
年	年	年	年	年	年		年	年	年	年	年	年
藤原行成	百姓往来	干3		坊っちゃん	陸軍							干祿(通) 中・台・香
年	年											
藤原行成	日本永代蔵				陸軍							
幸	幸	幸	幸	幸			幸	幸	幸	幸	幸	幸
嵯峨天皇	節用	干5		坊っちゃん								中国・台湾
幸	幸											幸
小野道風												香港
幹	幹	幹	幹	幹			幹	幹	幹	幹	幹	幹
前田本北山抄	再板農業全書	干10		坊っちゃん								中・台・香
幹	幹											
小野道風		木10										

②と③だけで①は見当たらない。行書や楷書では①と②だけで、③が見当たらない。
【幸】中国でも日本でも横線が1本多い字体が散見される。
【幹】「幹」は説文に不録だが「幹」は掲載されている。「幹」と「幹」は異体字とされるが、説文は別字と考えているよう